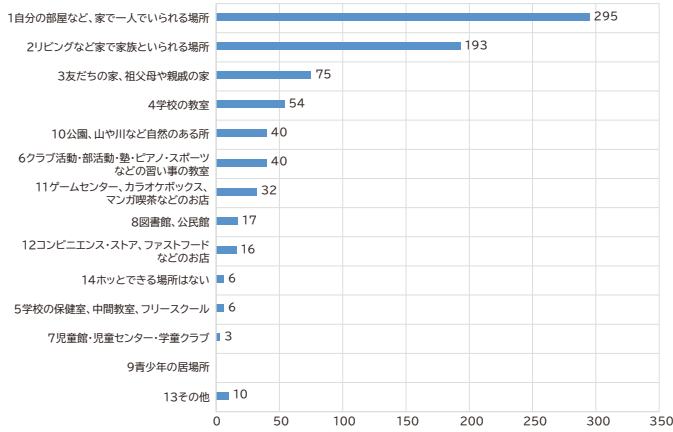
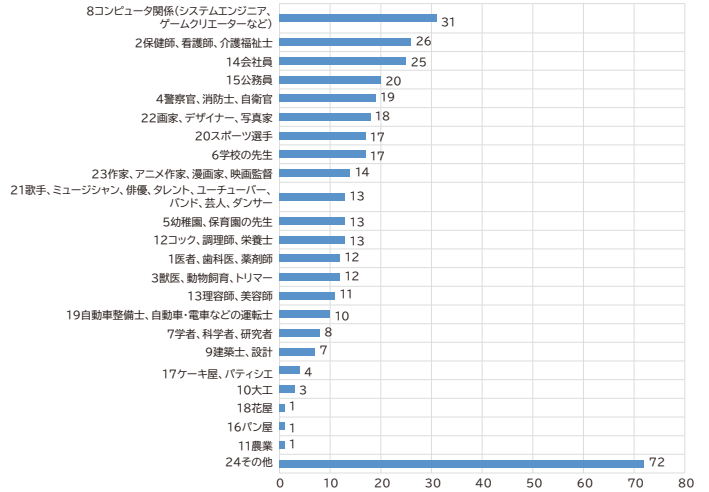


あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。(いくつでも)

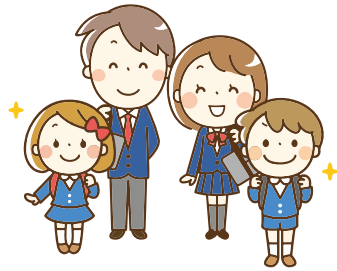
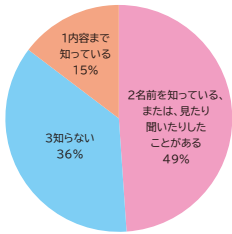


今、一番なりたいと思っている仕事を教えてください。(1つだけ選ぶ)

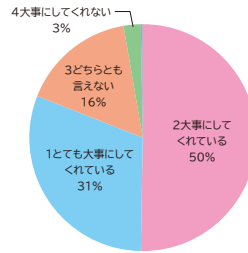


「子どもの権利条約」のこと

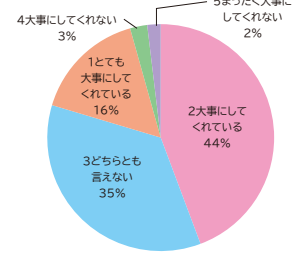
子どもの権利条約を知っていますか



あなたのことを決めるときに、おうちの方があなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか

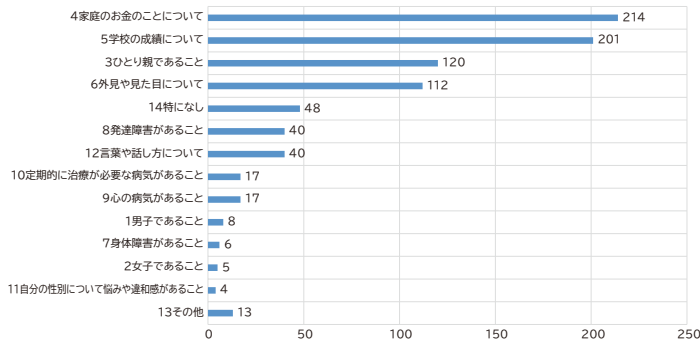


あなたのことを決めるときに、先生があなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか

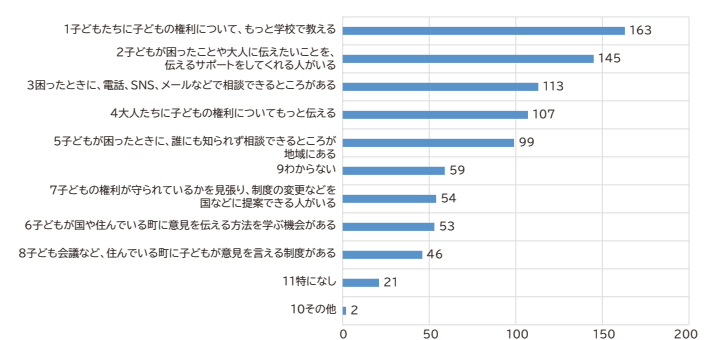


あなたは、次のようなことで悩んだことはありますか

(あてはまるものすべて)



あなたは子どもの権利を守るために、どのような仕組みがあるとよいと思いますか(あてはまるものすべて)



アンケート結果から示唆されること

みなさんは、子どもの権利を知っていますか？子どもの権利は、国際条約である子どもの権利条約で約束されているものです。なかでも、一般原則と言いますが、次の4つの権利がもっとも大切だとされています。差別のないこと(第2条)、子どもにとって最もよいこと(第3条)、命を守られ成長できること(第6条)、意見を表明し参加できること(第12条)。今回のアンケートは、子どもの権利についての意識を子ども自身に聞いて回答をいただいています。

「まわりの人から大切にされていると思いますか」との質問に88%の方が肯定的な回答をしています(だいたいそう思う48%・そう思う40%)。「大切にされている」と感じることでできることは、自分のことを大切にすることができることです。「大切にされた」という実感は、「たった一人の自分」を実感できることであり、自己肯定感の根幹であり、まさに生きる支えになっていきます。こうした思いを持つことができることは、とても素敵なことです。

名古屋市立大学大学院准教授

名古屋市子どもの権利擁護委員代表委員 谷口由希子氏

多くの方が相談できる人の存在を挙げており、中でも「親」と答えた人がもっとも多くいます。また、「家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか」との質問に肯定的な回答をしている人が89%います(だいたいそう思う55%・そう思う34%)。ひとり親で大変な時もあったかもしれませんが、お子さんと保護者との信頼関係をみることでできます。

一方で、「だれにも相談しない」と答えている人もいます。今は相談するタイミングではなかったり、言語化することが難しかったり…色々な思いを抱えていると思います。私たち大人は、「何とか悩みを聞きたい」、「解決してあげたい」と思いがちですが、問題解決の主体は子ども自身です。子どもの力を信じて、傍でそっと応援しましょう。私たち大人が子どもの権利を守るこそ、私たちに今できることだと思います。